

議長定例記者会見 会見録

日時：平成26年10月21日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

○みえ現場 de 県議会「森林づくりと森林を支える社会づくり～みえ森と緑の県民税導入を契機に～」の開催について

2 質疑項目

○みえ現場 de 県議会「森林づくりと森林を支える社会づくり～みえ森と緑の県民税導入を契機に～」の開催について

○大臣の辞任について

○知事選について

1 発表事項

○みえ現場 de 県議会「森林づくりと森林を支える社会づくり～みえ森と緑の県民税導入を契機に～」の開催について

(議長) おはようございます。ただ今から、10月の議長定例記者会見を始めます。まず始めに、「みえ現場 de 県議会『森林づくりと森林を支える社会づくり』の開催」について発表させていただきます。具体的な内容につきましては、広聴広報会議座長であります奥野副議長から説明させていただきますので、よろしくお願いたします。

(副議長) おはようございます。それでは、私の方から、「みえ現場 de 県議会」の開催につきまして、ご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

今年度の「みえ現場 de 県議会」につきましては、「森林づくりと森林を支える社会づくり」をテーマに、11月13日、木曜日に、尾鷲市にあります尾鷲市民文化会館（せぎやまホール）で開催いたします。

今回は、本年4月から「みえ森と緑の県民税」が導入されたことを契機に、県議会でも、三重の森林を守り、未来へつなげるための森林づくりはどうあるべきか議論を深めるため、森林づくりや森林を支える社会づくりに関わる方や、お手元にあるチラシにより現在公募中の一般県民の方と意見交換を行う予定としています。

なお、会議は公開で、傍聴も可能となっております。

ぜひ、報道機関の皆様におかれましては、事前の情報発信や当日の取材につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 質疑応答

○みえ現場 de 県議会「森林づくりと森林を支える社会づくり～みえ森と緑の県民税導入を契機に～」の開催について

(質問) 森林を支える社会づくりに関わる人とは、例えばどんな人ですか。

(副議長) 林業関係者、NPO・ボランティア団体の方、企業関係者、教育関係者の方々でございます。

(質問) あらかじめ議会のほうで声をかけられて来てもらうということですか。

(副議長) いろんな団体の方に声をかけさせていただいて、出ていただけるかどうかを確認させていただいて、今、7名くらいの方におおよその了解をいただいているところでございます。

(質問) 公募で2人募集するということですけど、どんな方に来て欲しいですか。

(副議長) 公募を含め全体で10人くらいの参加者を予定しているんですけど、現在のところ応募がまだございません。だから、今、参加者は7人かな。7人くらいの方でございます。できれば公募の方も2、3名程度来ていただくとありがたいんですけど。

(質問) どんな思いを持っている方に参加して欲しいなという、主催者側としてはどんな思いがありますか。

(副議長) 今、やはり税も出ましたし、災害とかいろんなことも、治水・保水の面からも、これから森林というのは非常に大事ですので、いろんな方のご意見を伺いながら森林税を有効に、これは本当に今日、明日の問題ではないんですけど、長い目で見て、山を守る、国土を守るという意味で、いろんな方の意見を聴きながら有効に税を使っていたらなあ、というふうには思っております。

○大臣の辞任について

(質問) 昨日、小渕、松島両大臣が立て続けに辞任しました件について、議長の感想をお願いします。

(議長) 昨日の重大ニュースだと思いますが、私も数日前から主に新聞報道で

の情報しかなかったんですが、非常に、一言で言うと、残念な結果になってしまったなど、そういうことでございます。もう少しいろんな面で、自身がきちっとそれなりに精査しておっていただければと思いましたが、非常に結果としては残念という以外に表現がございません。

（質問）今の件の関連で、「人のふり見て我がふり直せ」じゃないんですけど、改めて、そういうことはないと思いますけど、そういうことがあったんで、議長として議員に注意喚起をするとか、そういうことはないですか。

（議長）今のところ、いろいろ新聞でもございましたが、政務活動費等の問題になってこようかと思いますが、それぞれがそれぞれの責任でもって、きちっとやっておっていただきますので、今、私がここで、それを申すことはない、こういうふうに思っております。

（質問）今回、残念でならないということでしたけれども、行動の内容に関してはですね、軽率な行動をとった結果が招いた今回の辞任だと思うんですけども、その辺についてはどういうふうに思われていますか。今回お二人がとられた行動というのは。

（議長）私は、一言で言うと、今申し上げましたように残念ということのほかにはですね、これは女性の登用ということで、言うならば安倍政権の目玉だったわけですね。それでありながら、ああいうことが出たということについては、私はもう当然非常に残念なんですけど、ああいう結果になったことについては、いい判断をしたなというふうにも思わせていただいております。女性お二人がということなので、目玉がああいう状態では非常に困るんですが、だけどもこれもあまりズルズルということでは私はいけないと思っておりましたし、たまたま、あのような2人が同時に辞任したということは、一つのけじめをつけて、新しく出発していくということについては良かったかなと、このように思っておるわけでありませう。

（質問）選挙区内で、ああいうチラシに近いようなうちわを配るようなことって、結構、地方議員さんでもあり得るような話だと思うんですけど、あれも扱いが結構微妙なところがあったと思うんですけど、その辺、先ほど注意喚起、特に個別でということだったんですけど、何か、どうでしょうか。

（議長）私は実際には見たことはなかった、選挙区内でね。四日市の選挙区内の人が、ああいううちわの件は四日市については見たことがございません。だ

から、ないと思っております。だけど全国的に見ればですね、かなり行われておったのかなという気もしないでもないですね。

(質問) ちなみに伊勢はどうですか。

(副議長) 意外に静かな選挙区ですね。だけど吉川さんが柄(え)のないうちわはありましたね。それは法務大臣のあれが出た時に、吉川ゆうみさん確かこう書いたやつ配ってたなっていうような、あったような気がして、これ大丈夫なんかなというのちょっと感じた。そんなこと言うと、それでも自民党かって、多分、お前もう党籍も剥奪するぞって言われるか分からんけど。

(質問) それはいつ頃ですか。

(副議長) 参議院の選挙の時じゃないですか。それは、だから柄がついてないんでよかったんでしょ。柄というのか、これがなかったら。それみんな知っているんでしょ。あれはいいんでしょ。討議資料って書いてあったんかどうかは知らんけど。

○知事選について

(質問) 鈴木知事から、来月の11月定例会議の冒頭に、2期目について何か言いたいという申し出はありましたか。知事選について。

(議長) いや、今、受けておりません。

(以上) 10時42分 終了